

★*...-----*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2014.01.19 vol.14

★*...-----*★

本メールマガジンは、スターリマンのお話の創作者
はせがわ芳見とご縁のある大切な方々に心を込めて
毎回9の付く日にお届けさせていただいております☆
配信停止をご希望の方は、お手数ですが
yoshimi@dream-hasegwa.comまでご連絡ください。

☆ごあいさつ☆

ここ数日で一段と寒さが増しましたが、
皆様、お変わりございませんか？

さて、昨日は、このメールマガジンの
第3話と第4話でご紹介させていただいた、
大久保寛司氏と高野登氏をゲストにお迎えして、
第2回「今を生きるスターリマンたちの新春の集い」
～1年後のあなたに贈る幸せの予想未来図～を開催しました。

「日本の四季の輝き」の夏と秋の2作品を始め、
スターリマンの原画作品を展示した会場に、
慈愛に満ちた心優しい方々にお集りいただき、
本当に心から感謝でいっぱいでした。

第1部では、「自分の中にある輝きに出会う瞬間」
というテーマでゲストのお二人にご講演いただいた後、
メルマガの内容を振り返りながら、
和気あいあいとしたトークセッションを行いました。

その後、朗読をお聴きいただきながら
それぞれの心の中での原風景に想いを馳せ、
「1年後の幸せの未来予想図」を
お手紙としてご自身宛に書いていただきました。

第2部では、会食をお楽しみいただきながら、
ご参加の皆様お一人お一人に、
第1部の中で、心に響いたこと、感じたことなどを
自己紹介と共にお話いただきました。

普通であれば、途中でざわざわと
騒がしくなってしまう所、
ずっとお立ちになったまま、
耳も心も真剣に傾けていただき、
講演会の感動がさらに深まりました。

スターリイマンのように輝く皆様の
温かい心がつながって、
みんなが幸せに包まれた集いになりました。
本当にどうもありがとうございます。

是非また、このような素敵な時間を
多くの皆様と過ごしたいと願っております。

それでは、本日より第5話として、
アイエスエフネットグループ 代表の
渡邊幸義氏の物語をお届けいたします。

最後まで、お楽しみいただけたら幸いです。

☆第5話 すべての人に働く幸せな社会を創る☆
アイエスエフネットグループ 代表 渡邊幸義 氏

～ 第1章 渡邊幸義氏との出会い ～

渡邊幸義氏と初めて出会ったのは、
2012年1月14日。

長野市の善光寺大勧請にて開催された
高野登氏の「寺子屋百年塾特別講座 新春談話会」でのこと。

講演会内で、娘はスターリイマンの作品の朗読をさせて頂きました。
<http://temahima.naganoblog.jp/e919194.html>

そして、講演会後の交流会で、
大久保寛司さんから、アイエスエフネットグループの
渡邊社長と杉岡常務(現在は専務取締役)と
NPO法人FDAの事務局長の成澤さん(現在は理事)をご紹介頂きました。

輝く笑顔でご挨拶して下さった渡邊社長に、
私はとても親しみを感じました。

それから一週間後、アイエスエフネットグループさんが、
障がい(障害)をお持ちの方で就業を希望される方のご家族向けに
毎月開催している「父母の会」に、主人と娘が参加させて頂きました。

私は先約があり、残念ながらお伺いすることが出来ませんでした、
主人と娘が教えてくれた会の様子や頂いて来たパンフレットを拝見して、
感動で全身が熱くなるを感じました。

アイエスエフネットグループさんは、20大雇用を掲げ、
IT関連の事業を行っている「株式会社アイエスエフネット」の他に、
様々な方が働きやすい環境を日本や世界でも創出しているとのこと。

20大雇用って、何だろう?知れば知るほど、すごい!

私は、ただただ、感動でした。

尚、20大雇用とは、従来では働く事が困難であると考えられていた
以下の方々へ対して、雇用の場を創造する取組みのことです。

- 1:ニート・フリーター
- 2:FDM(注)
- 3:ワーキングプア(働く時間に制約のある方)
- 4:引きこもり
- 5:シニア
- 6:ボーダーライン(軽度な障がいと障がい者手帳を不所持の方)
- 7:DV被害者
- 8:難民
- 9:ホームレス
- 10:小児がん経験者
- 11:ユニークフェイス(見た目がユニークな方)
- 12:感染症
- 13:麻薬・アルコール等中毒経験者
- 14:性同一性障害
- 15:養護施設等出身の方
- 16:犯罪歴のある方
- 17:三大疾病
- 18:若年性認知症
- 19:内臓疾患
- 20:その他就労困難な方(失語症)

詳細 <http://www.isfnet.co.jp/release/2011/1101.html>

一人の障がい者の方を雇用するのさえ、
企業は受け入れることさえ難しい社会の現状で、
障がいの方以外の方々のことにも目を向け、
すべての人に働く機会を与えていってやるなんて、なんと尊いお仕事なのだろう。
私は心が震えて、涙が溢れてしまいました。

「渡邊社長とお母さんが直接お話ししたら、
もっと共感できることがたくさん生まれそうだよ」

私は主人と娘に背を押され、
早速、渡邊社長にご連絡をさせて頂き、
3月16日にお会い出来ることになりました。

超ご多忙なスケジュールの中、渡邊社長だけでなく、
杉岡常務、成澤さん、社長秘書の勝村さんが
私たちのことを温かく迎えてくださいました。

皆様と1時間余り、ISFネットグループの会社のお話と
渡邊社長が目指す志をお聴きかせ頂くうちに、
私は、渡邊社長のお役に立ちたいと心から思いました。

最後に渡邊社長から、

「これから我々と一緒にスターリイマンの
夢を叶える風船「希望」「元気」「勇気」「夢」「愛」
「友情」「未来」「信頼」「幸せ」で、
たくさんの人に笑顔をお届けに行きましょう」

と、力強く言って頂き、全員で満面の笑顔できずな握手をしました。

この時、渡邊社長が書かれた
「雇用創造革命」(ダイヤモンド社出版)に、
「はせがわファミリーの皆様
たくさん笑顔をつくってゆきましょう!」と
メッセージとサイン入りで贈って頂いた本は大切な宝物です。

その後、初のコラボレーションイベントとして、
5月26日に福島市の駅前にある「匠カフェ」さんにて、
スターリイマンの紙芝居ライブをさせて頂きました。
「匠カフェ」さんは、障がい者の方々が
もっと輝きながら働けるようにと
2011年3月1日にグランドオープンしましたが、
10日後の2011年3月11日に東日本大震災に被災し、
休業を余儀なくされました。

しかし、渡邊社長はカフェで働く方々や
その親御さんの希望を失わないために、
絶対にお店は潰さないと誓い、みんなで力を合わせ、
震災から3ヶ月後にカフェを再オープンさせたのです。

それから、2012年7月11日には、
愛知県安城市に2号店となる「PonteCafe匠」を、
同年11月19日には、東京・青山に「匠カフェaotto」がオープン。

2012年のクリスマスには、この福島・安城・青山の
3拠点の社員の皆様に向けた素敵なクリスマスイベントを
渡邊社長サンタさん、杉岡専務トナカイさんと一緒に頂き、
本当に楽しくて心温まるひと時を過ごさせて頂きました。

そして、この1年間で次々と事業拠点が開所され、
昨年のクリスマスは、新潟、札幌、佐賀、沖縄、安城、大阪、沼津
盛岡、仙台、福島、いわき、青山、中野の計13か所で
クリスマスイベントを行わせて頂きました。

今年は、すでに決まっているだけで
新たに国内だけでも24の事業拠点が増えるとのことで
渡邊社長や全社員の皆様が、
日々どれだけの努力をなされているのだろう…

世の中の人々の幸せを願う皆様の本気の想いを感じ、
益々お役に立ちたいと願う気持ちが強くなりました。

他にも、昨年「いつも君にそばにいるよ」の
出版記念講演会を渡邊社長と大久保寛司さんと一緒に開催させて頂き、
<http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/2013/02/post-9725.html>

そこから「いつも君のそばにいるよ」でお世話になった
学研パブリッシングの遠藤編集長とのご縁で、
渡邊社長の本を出版して頂けることになり、
そのご本の表紙の絵を主人が描かせて頂きました。

『お母さん、障がいの子どもを応援しますよ』(学研パブリッシング)
<http://hon.gakken.jp/book/1340576500>
また、2012年の3月から青山の「匠cafe aotto」さんで、
「いつも君のそばにいるよ」の朗読カフェを行ったり、
<http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/blog/2013/02/post-7133.html>
<http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/blog/2013/03/aotto-b38e.html>

日本理化学工業さんの「キットパス」で絵を描かせて頂いたり、
http://www.rikagaku.co.jp/s_gallery/?id=218

このメールマガジンの講演会の会場として、「匠ソホラ」さんを使わせて頂いたりと、
<http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/blog/2013/11/post-3fc8.html>
素晴らしいご縁、数々のお力添えに感謝でいっぱいです。

初めて渡邊社長にお会いさせていただいた際、渡邊社長は、

「私たちに持っていないものを、
はせがわファミリーは持っています。
その特長を生かしながら、
私たちと一緒に広げていってください」

と言ってくださいました。

お互いがお互いの良いところを認めて、
足りない部分を補い合い、支え合い、生かして行くことができる。
なんて、素敵な関係なんだろうと、私は感動しました。

これからも、すべての人が平等に夢を叶えられ、
社会全体が家族のように温かなきずなでつながるために、
アイエスエフネットグループの皆さまと一緒に
日本中、世界中に夢を叶える9つの風船を
お届けしてまいりたいと私たちは心から願っています。

☆第5話 すべての人に働く幸せな社会を創る☆
アイエスエフネットグループ 代表 渡邊幸義 氏
第2章は、1月29日(水)配信予定です!

第5話「今を生きるスターリイマンの物語」
第1章の渡邊幸義氏との出会いはいかがでしたか?

まだ出会ってから2年とは信じられない位、
深い深いお付き合いをさせて頂き、
改めてご縁の有り難さを感じました。

さて、次回は、第2章 渡邊社長の原風景です。
配信は、1月29日(水)となります。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

☆後記☆

いよいよ2014年の活動が、本格的に動き始めました。

私の著書の「いつも君のそばにいるよ」の
朗読音楽コンサートを、3月9日「サンキューの日」に
福島県郡山市で開催させていただくにあたり、
今週末の25日26日は、そのイベントとして、郡山にお伺いします。
<http://www.dream-hasegawa.com/about/event.html>

このコンサートを、全面的にバックアップしてくださる、
みどり書房さんとペップキッズさんのご協力の元、
新たな出会いの場を設けていただき、本当に有り難いです。

明日、1月20日の大寒は、
冬の寒さが一番厳しい時期と言われています。

小寒(今年は1月5日)から立春の前日までの30日間を
「寒中(寒の内)」といい、大寒はその真ん中にあたります。

まだまだ寒い冬は続きます。
どうぞお身体を冷やさないように、お過ごしくださいね。
それでは、本日もありがとうございました。

はせがわ芳見

☆はせがわ芳見ブログ☆
<http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/>

★*...-----*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2014.01.29 vol.15

★*...-----*★

本メールマガジンは、スターリマンのお話の創作者
はせがわ芳見とご縁のある大切な方々に心を込めて
毎月9の付く日にお届けさせていただいております☆

配信停止をご希望の方は、お手数ですが
yoshimi@dream-hasegwa.comまでご連絡ください。

☆ごあいさつ☆

皆様、お変わりございませんか？
早いもので、1月もあと残すところ
2日間となりました。

今年はこんな年に、と祈願し、
神社でご祈祷して頂いた元旦からの
1日1日を思い起こしてみました。

また、たくさんの素敵なお縁を頂いて、
なんて幸せな毎日なんだろうと感謝でいっぱいです。
皆様のこの1ヶ月はいかがでしたでしょうか？

さて、今月3回目のメールマガジンをお送りさせていただきます。

最後までお楽しみ頂けましたら
大変うれしく思います。

☆第5話 すべての人に働く幸せな社会を創る☆
アイエスエフネットグループ 代表 渡邊幸義 氏

～ 第2章 渡邊幸義氏の家族の原風景 ～

渡邊社長は、会社で働く社員お一人お一人を
家族のように愛し、いつも気遣っていらっしゃいます。

そして、「お母さん、障がいの子どもを応援しますよ。」の
本にも書かれているように、
社員の親御さん、特にお母様への想いは、
誰にでも真似出来るようなものではありません。

ご自身に関わる人すべてを心から大切に想う
今の渡邊社長に至るまでのお話をお聞きしたいと思い、
昨年11月5日にインタビューをさせて頂きました。

Q1. 渡邊社長のご両親のことを教えてください。

私には、昭和8年生まれの父・栄一。
同じく昭和8年生まれの母・千代子の両親と、
2歳上の姉・秀子と2歳下の妹・美智代の姉妹がいます。

私の父はとても仕事熱心で、真面目な人です。
私はそんな父を尊敬しています。

父のお父さん。私の祖父は、
父が幼い時に事業に失敗をして、
土地や家財道具の一式を失くしてしまいました。

父はお布団や着るものもすべて、
質屋に持っていかれてしまった程の
貧乏な環境で、育ちました。

父と母は同じ年で、28歳の時に結婚。
山梨に住んでいましたが、結婚を機に、
東京に出て、洋服屋を始めました。
その後、すぐに姉が生まれました。

両親は沼津の洋服関係の知り合いを頼って、沼津に移り、
その知人から3万円を借りて、沼津で洋服屋を開きました。
そして、両親が30歳の時に私が生まれました。

沼津市の下石田という所に住んでいて、
幼いころから私は、父と母がいつも二人で力を合わせて、
ものすごく真面目に一生懸命に
仕事をしている背中を見ながら育ちました。

苦勞してきた両親は、子供には苦勞させたくないの一心で、
頑張って仕事をしていました。
そんな真面目で一生懸命に仕事をしていた両親がいたから、
私も真面目にやらなくてはと、
真面目にやっていたのだと思います。

両親から、経営の才覚も学びました。
その一つに、大型店舗に対抗できる先を見極める目。
また、どんな小さい会社でも
マーケティングがしっかりしていれば、
つぶれないことも知りました。

どんな時でも、仕事に熱心に打ち込む両親の生き方は、
お金持ちになりたいとかではなくて、
本当に自分がやりたいことを探して、
自分の使命はこれなんだと心から思える、
今の仕事につながっています。
この事業をやっている、毎日楽しいですよ。

両親は私が小さい時から、
私のやることを反対しなかった。

母はとても愛情深い人で、もちろん父もですが、
その愛を子どもの時に親からいっぱいもらっているから、
大人になっても無くならないで、
人に対して溢れる愛情を注げるんだと思うんです。

両親の愛情が、人への思いやりや
温かい気持ちにつながって行くんだと思います。
私が社員が子供のように愛せるのは、
両親からの愛情のおかげですね。

私はものすごく両親が大好きです。
今、両親は私の言うことを子供のように聞くんですね。
例えば、父と母が喧嘩をして、
私が二人を抱きしめると、二人は喧嘩をしなくなります。
特に母親は、私の子どものように感じるんですね。
すごく素直な母で、私の言葉が母の健康の源なんです。

母のことは、小さい時から大事にしてきましたね。
大学生の18歳の時から、東京から帰って、
いつも食事を一緒にしています。

今は3か月に1回ぐらいになってしまいましたけど、
でも、沼津に昨年10月、会社を創ったので、
毎月帰れるようにして、また母と一緒に、
食事や買い物に行っていますね(笑)

父とは男同士で、以前はお酒を飲みに行っていました。
しかし、私が朝2時半に起きて、仕事を始めるようになってから、
私がお酒を飲まなくなって、
父とはなかなか飲みに行けなくなってしまいました。

Q2.どんな子供時代を過ごされましたか？

私はどちらかという出来のよいほうではありませんでした。
小学校1年～2年ぐらいまで、運動はできない。
勉強もまったくできない子供でした。

出来が悪いから、先生にもいじめられていて。
小学校2年生の時に、学校に行きたくないと言ったら、
母に初めて怒られました。
母から怒られたことは、後にも先にもこの時だけでした。
母に怒られて、ハッとしましたね。

3年生になって、担任の先生も変わって、
自分の気持ちを入れ替えようと思って、
そこからちょっとずつ、変わっていったんです。

そうしたら、ダメだったのが、普通ぐらいになって。
そのタイミングで、父親が柔道を習わせてくれて、
そこから性格も変わりましたね。

6年生ぐらいになると、体力もどんどんついてきて、
体も大きくなって、自信を持てるようになりました。

中学校は、自分を変えようとして、学区外の中学に行きました。
そこから、ものすごく変わりました。剣道部に入って、
この剣道部は沼津市内でも一番強くて、
その剣道部の正選手(補欠でない)になりました。

自信も大きく持てるようになっていたので、
相撲大会が合った時、クラス全員を投げ倒してしまい、
みんなから恐れられるようになってしまいました。

勉強も中1の終わりぐらいから、真面目に始めたんです。
すると勉強も出来るようになって、
中3では、学級委員長や生徒会に立候補すようになったんです。

高校への進学ですが、県下の進学校に入学しました。
母親が医者にと期待してくれてので、塾にも入って、
医者を目指して勉強も一所懸命にやりましたね。

1年生のときは学年で上位の成績だったんですが、
でもその勉強が楽しくないんですね。
学校に入るための勉強はモチベーションが上がらなかった。

その頃、剣道部の主将もしていて、進学校だったので、
受験のために、みんなが最後まで続けられない中で、
私は高3の終わりまでやり続けました。
この時のことは今でも生きています。

当時、一緒にやっていた後輩たちとは、
今もずっと付き合っていて、その後輩の一人が、
会社でスタッフとして働いてくれているんです。
うれしいですね。

Q3.今の会社を起業されるまでの印象的なエピソードを教えてください。

話は大学受験に戻りますが、何のために医者になるんだ
と思うようになってから、勉強に力が入らなくなって、
受験勉強をしませんでした。
母親が、大学に行かないなら、洋服屋をついでほしいと言われて、
自分には洋服屋が向いていないと考え、
その当時興味があった化学が勉強ができる大学を選び、
武蔵工大に入学することに決めました。

しかし、入学してみると科目のほとんどは私の苦手な物理ばかりで、
ほとんど理解ができなかったので、別の二つの目標を決めました。

一番厳しい体育会のアメフトに入部しよう。
入部後は、練習練習に明け暮れて、まったく遊べなかったですね。
心と身体を鍛えました。

もう一つは、大学の4年間で2000冊の本を読み、
読んだ本の感想文も書こうと決めました。

朝練の後は、授業中はずっと、ノルマをかけて、
本を読んでいて、色々なジャンルの本を読みましたね。
それが、今の未来ノートにつながっているんです。

化学が好きだったので化学の道に進むか、
親のように起業をするのかを迷っていました。
起業するには一人でどれだけたくさんの出会いを
作れるのかというトライを自分自身に課してみようと考え、
沖縄に一人で行くことを決めました。

そして、一ヶ月ビル工事の仕事を土日して、
43万5千円を稼いで、沖縄に行ったんです。

その現場工事は命がけでした。
一日1万5千円もらえてのですが、中途半端でなく、
ものすごく厳しくて、現場で働いている人が、
一日で辞めた人がほとんどだと言っていました。

朝6時～夜10時まで、10キロの物を持って、
はしごを上って行くんです。いやあ、怖かったですね。
落ちたら死にますからね。死んでも何も保証はいただけません。

仕事の最後の日、現場の親方が、うどん屋に連れて行ってきて、
立ち食いそばをごちそうしてくれました。
そして、「お前はすごいやつだよ。将来は絶対に組織をまとめられる」
と言われました。

後で聞いた話ですが、親方は奥さんから、
たばこ代しか貰ってなくて、たばこを買わないで、
私にそばをごちそうしてくれたそうです。

私は、命がけで稼いだお金を持って、
沖縄に行きました。

1日は観光、2日目はショッピングを…
しかしその夜、何のために沖縄に来たんだろうと思って。
そうだ、友達が出来なければ起業できないと思い、
それは絶対いやだなと思って、3日目の朝から、
歩いている人に、片っ端らから声をかけ
知り合いになった人たちと、西表島に行きました。

今から30年前のことですので、前人未到と呼ばれている山があって、
そこに私たちは入ってしまい、山で迷ってしまいました。

食料も半日分ぐらいしかなくて、
もうダメかなと思った2日目の夜に、
ハッと目を開けたら、辺り一面が眩しい光に包まれていました。
何と1万匹以上の蛍が光っていたんです！
ああ、助かるかも…みんな興奮しちゃって。

翌朝、早く起きて歩いていたら、島民の人に遭って助かったんです。

それから、島の人たちと仲良くなって、
お金も無くなってきたので帰ろうとした夜に、
島民のMr.クマさんがお別れ会をしてくれたんです。

その時、私は泡盛をあびるくらい飲まされて、
腰が立たなくなって、島から帰る事が出来なくなったんです。
そして、お金もないので島で働いて滞在して、
カヌーレースにも出て、17艘のうち3位になったんです。

後で聞いたのですが、カヌーレースに私を出させるために、
Mr.クマさんは泡盛を腰抜けになるまで飲ませたそうです。

飲み過ぎて吐いてしまった私を、
Mr.クマさんは微動だせず私を抱き上げてくれた。
クマさんの話を後から聞いて、
私もクマさんのようになりたいと思いました。
この沖縄のことをきっかけで自信を持ち、
私は4人から起業しました。

昨年、沖縄市にISFグループの事業所を立ち上げた時に、
皆様にお話させて頂きましたが、
私が起業できたのは、沖縄の皆様のおかげなんです、
とお礼をお伝えすることが出来ました。

Q4.渡邊社長が大切にされていることは何ですか？

母が57歳の時、病気になりまして、
人生の中でものすごくショックでしたね。
母がトイレに行く姿をみて、自分の無力さを感じました。

余談ですが、小学校の時、友達から、
「幸義ちゃんのお母さんってきれいね」と言われるたび、
とっても嬉しくて、この母親から生まれて来たんだからと、
自分の自信にもつながりました。
そんな誇れる大好きな母親が…。

本にも書きましたが、母の病気を治してくれる
お医者さんに会ったんです。
本当に嬉しかったですね。と同時に、
そのお医者さんがすごいと思いました。

出来ないことを、一生懸命に努力して努力して
治せることができるようになったこと。
その事を聞いて、またまた感動しました。
私もそういう人になりたい。
問題解決を出来るような人になりたいと思いましたね。

母は病気が治って、これからの自分の人生をもらったと思ったそうです。
本当にありがたいことですよね。

私は母の病気で会ったお医者さんから、
私の本当にやりたいことに気付きました。
学生の頃、目的がなくて空しい行動で、
成績が上がってもまったく嬉しくなかった。

でも今は、失敗ばかりしているけど、
ものすごく毎日が楽しいんです。
何かひとつやることで、人が喜んでくれることがあるって、
頑張れるんです。
なりたい自分に近づくために努力する。
努力する意味が見えてくる。

これから、障がいを持ったお母さんたちの問題を
解決してあげられることが、
ひとつひとつ希望につながっていけるように、
頑張って生きたいと思います。

Q5. 渡邊社長にとってのスターリイマンは誰ですか？

私にとってのスターリイマン。
それは、障がい者雇用を始めるきっかけを創ってくれた
すべての人たちです。

☆第5話 すべての人に働く幸せな社会を創る☆
アイエスエフネットグループ 代表 渡邊幸義 氏
第3章は、2月9日(日)配信予定です!

皆様、渡邊幸義氏の家族の原風景は
いかがでしたでしょうか?

渡邊氏は、いつも溢れるばかりの
お母さんの愛で育まれて来たからこそ、
その蓄積されている愛情が、
就労困難な方々をはじめ、
すべての人たちの雇用を創るために
日夜、命懸けで日本中の、世界中を駆け巡る
大きなエネルギーになっているのですね。

今日も誰かの幸せの笑顔を願って…
渡邊氏は、どこを旅しているのでしょうか?

さて、今回は、第3章 渡邊幸義氏の
スターリイマンに宛てた感謝の風船レターです。

配信は、2月9日(日)となります。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

第3回「今を生きるスターリイマンとのランチ談話会」
～子供の可能性はお母さんの愛の力で決まる～

ゲスト:アイエスエフネットグループ 代表 渡邊 幸義 氏
特別ゲスト:人と経営研究所 所長 大久保 寛司 氏

本講演会は、作品の中に登場する“スターリイマン”のように、
誰かのために、何かのために輝きを届けている方を
毎回ゲストにお招きして、その方のお話や作品の鑑賞を通して、
自分自身の心と対話して頂けるような時間をお届けしています。

第3回目は、障がい者の子どもを持つお母さんを応援し続ける
アイエスエフネットグループ 代表の渡邊幸義氏と、

特別ゲストとして、人と経営研究所 所長の久保寛司氏をお迎えし、子育てに最も大切なお母さんの“愛の力”について、参加者の皆様と語り合うランチ談話会を行います。

本日のメールマガジンの中でご紹介させて頂いた渡邊氏のお母様のこと、そして、久保氏のお母様についてもお二人から色々とお聴きしたいと思っております。

昨年12月にオープンした、ビュッフェスタイル・レストラン「ラ・アルチザン」(アイエスエフネットグループ運営)の美味しいランチをお楽しみ頂くと共に、子育てに必要な愛の力を学び合えましたら幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております☆

第3回「今を生きるスターリイマンとのランチ談話会」
～子供の可能性はお母さんの愛の力で決まる～

ゲスト:アイエスエフネットグループ 代表 渡邊 幸義 氏
特別ゲスト:人と経営研究所 所長 久保 寛司 氏

日 時:2014年3月6日(木) 11時30分～13時30分 (開場 11時)

会 場:ビュッフェスタイルレストラン「l'artisan」(ラ・アルチザン)
<http://www.isfnet-harmony.co.jp/takumi/06omotesando/>
東京都港区南青山5-16-2 ティスモ南青山1F / TEL:03-3409-5311
東京メトロ「表参道」駅 B1出口から徒歩5分

内 容:渡邊幸義氏&久保寛司氏との談話
参加者同士の対話&ゲストへの質疑応答
ラ・アルチザン特製ビュッフェランチ

参加費:2,500円(ビュッフェ・デザート・飲み物含み)

定 員:40名

主 催:「一般社団法人スターリイマンからの贈りもの」

【小さなお子様をお持ちの方へ】

アイエスエフネットが運営する「ゆめみん青山保育園」(青山一丁目駅前・匠ソホラ内)でお子様をお預かり致します。先着順となりますので、お早めにご相談ください。

*対応可能年齢:1歳児～未就学児

*費用:1000円/時(初回利用時は、登録料500円)

お問い合わせ・お申し込み先

「ゆめみん青山保育園」TEL:03-6432-9382

*「3月6日のランチ会中の託児の件で」とお伝えください。

詳細:<http://www.dream-hasegawa.com/event/2014.03.06.pdf>

お申し込み:<http://kokucheese.com/event/index/138757/>

☆後記☆

2月3日は節分ですね。

数年前から、縁起物として
恵方巻を頂くことが主流になってきましたが、
風水の第一人者であるDr.コバさん曰く、
今年は、お稲荷さんが良いそうですよ。

ちなみに、豆まきを行う時は、
家の鬼門(東北)から時計周りに、
「鬼は外」よりも「福は内」を
1回多く言いながらまくといいそうです。

2月4日の立春を迎える前に、
一年間の無病息災を祈願し、
益々輝く2014年の種まきを
行って頂けたらうれしいです。

さて、本日はこれから第7話でご紹介させて頂く、
埼玉県の上田清司知事へのインタビューのために
県庁の知事室にお伺いさせていただきます。
今からドキドキ緊張していますが、とっても楽しみです。

ご公務のお忙しい中、貴重な30分のお時間を頂いておりますが、
いつもよりもインタビュー時間が短いので、
皆様に素敵なお話をお届け出来るよう
がんばってまいりたいと思います!

それでは、今回も最後までお読み頂きまして、
誠にありがとうございました。
さあ、今日も笑顔の一日を過ごしましょうね☆

はせがわ芳見

★*...-----*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリイマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2014.02.09 vol.16

★*...-----*★

本メールマガジンは、スターリイマンのお話の創作者
はせがわ芳見とご縁のある大切な方々に心を込めて
毎回9の付く日にお届けさせていただいております☆

配信停止をご希望の方は、お手数ですが
yoshimi@dream-hasegwa.comまでご連絡ください。

☆ごあいさつ☆

皆様、お変わりございませんか？

昨日は、なんと46年ぶりの大雪が…
道路も家々の屋根も木々も、銀世界の中。
私の住んでいる埼玉も雪国のようです。

ガリガリと各家々で雪かきをする
スコップの音が聞こえてきます。

外は冷凍庫のような寒さですが、
眩しい朝日できらきらと溶け出しています。

早朝、実家の父から電話があり、
46年前の大雪の日の記憶がよみがえりました。

私は当時、小学4年生。
ちょうど自宅を新築していたあの頃の思い出。
今は、その家に、今年84歳になる父親が
ひとりで暮らしています。

あの頃の私の家族の原風景。
いつも温かい愛情いっぱいだった日常。
今日の雪景色の風景と重なって…

お父さん、お母さん。
私はずっとありがとう。幸せだよ。

皆様の46年前は？
そんな記憶を辿って頂きながら
第5話の最終章となる、渡邊幸義氏の
スターリイマンに宛てた感謝の風船レターを
最後までご覧頂けたら、嬉しく思います。

☆第5話 すべての人に働く幸せな社会を創る☆
アイエスエフネットグループ 代表 渡邊幸義 氏

～ 第3章 渡邊幸義氏のスターリイマンに宛てた感謝の風船レター ～

アイエスエフネットを創業したのは2000年1月。

多くの雇用を作り、社会に貢献したい!と思い、
起業し、ITの通信サービス業を始めました。

ITは急速な成長が見込まれており、
雇用がたくさん作れそうだと、
大義に”雇用の創造”を盛り込みましたが、

そのときに今のような20大雇用(就労困難者の雇用)に
拡大するとは正直思っていませんでした。

私とスターリイマンのはじめての出会い、
障がい者を雇うお好み焼き(私の大好物)屋に
行った時のことでした。

障がいのあるスタッフが一生懸命働く様子を見て、
私は大変感動をしました。

そしてそのお好み焼き屋で意気投合したお客様が、
特別支援学校の先生だったのです。

その方こそ、私が障がい者雇用を
進めるきっかけになった方(スターリイマン)です。

当時、アイエスエフネットは
障がい者雇用に取り組もうとしており、
その方が生徒さんを紹介してくださることになりました。

そしてその紹介いただいた生徒さんが今、
当グループで最古参の障がい者社員のS君です。

S君は重度知的障がいがあるにも関わらず、常に努力をして、今では器用にいろいろな業務をこなします。

彼が勤務をしている特例子会社のアイエスエフネットハーモニーでは見学会も行っていますが、彼はその真面目で一生懸命な働きぶりから多くの人に感動を与えています。

S君は現在、時給で換算すると1000円近い給与を得ています。

特技は書道で、腕前は8段です。会社の直筆でしたための必要のある書はほとんどS君が書いています。

お母さんが書道家で、6歳の頃から一生懸命書道を教えてきたのだそうです。

そのS君にとってのスターリイマン(お母さん)のバトンを私が受けて、

お母さんが人生をかけて自立のために教えてきた書を活かし、S君のメイン業務にしています。

S君も大勢の人から喜ばれ、評価され、表情から喜びが感じ取られます。

今、S君はたくさんの人に喜びと笑顔を与えるスターリイマンになっています。当グループは現在障がい者400名以上、20大雇用(就労困難者)該当者は700名をこえるまでになりました。

それは、はじめのスターリイマンとの出会いから10年ほどの間に、たくさんのスターリイマンが現れ、信頼、友情、愛、希望、未来、勇気、元気、幸せの風船を私に届けてくれたからでした。

私はスターリイマンからの風船を受け取り、その風船を関係するすべての人と共有をしました。

そのおかげで日本全国、全世界に
たくさんの笑顔、喜びが
つくられているのだと実感しています。

☆第6話 日本企業の経営品質向上へ貢献する☆
NPO法人 茨城県経営品質協議会
NPO法人 日本再生プログラム推進フォーラム
理事 鬼澤慎人 氏

第1章は、2月19日(水)配信予定です!

皆様、渡邊幸義氏のスターリイマンへの
感謝の風船レターはいかがだったでしょうか?

自分にとっての大切なスターリイマン。
その存在に気づくことで、
どんなことも乗り越える勇気や希望が湧いてくる。

きっとその人は、
あなたが幸せに生きていくために
大きな力を与えてくれる人。

夢を持たせてくれた人。
今のあなたを支えてくれる人。

そして、あなたは誰かのスターリイマンでもありますよ。
あなたにとってのスターリイマン。
是非、このメールマガジンをお読みいただきながら、
毎回ご自身の心の中で探していただけたら幸いです。

さて、次回から第6話に入ります。

ご紹介させていただくのは、
日本企業の経営品質向上へ貢献なさっている
NPO法人 茨城県経営品質協議会
NPO法人 日本再生プログラム推進フォーラム理事の
鬼澤慎人氏です。

配信は、2月19日(水)となります。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

☆後記☆

今週末の2月14日は、バレンタインですね。

君が大切だよ。ずっとそばにいるよ。なんて、
なかなか照れくさくて言葉に出来ない大切な想い。

ちょっとCMになりますが、
私の著書「いつも君のそばにいるよ」が、
そんな皆様の気持ちをお伝えするために
少しでもお役に立てたらと願っています。

明後日11日までにご注文をいただければ、
サインとメッセージをお入れして、ラッピング付きでお届けいたします。
http://www.dream-hasegawa.com/shop/html/products/list.php?category_id=9_

本以外にも、ご予算に合わせた
素敵なギフトセットをご提案させていただきますので、
お気軽にご相談くださいね☆

最近、女性から男性へ贈るだけでなく、
日頃お世話になっている方に感謝を込めて
お贈りする方も多いためですね。

今年のバレンタインは、あなたのスターリイマンに
感謝を伝えてみませんか？
真心こめたチョコとご一緒に…

それでは、皆様、体調に気をつけて、
笑顔溢れる素敵な日々をお過ごしくださいね☆

はせがわ芳見

発信元:ドリーム工房☆はせがわ はせがわ芳見(よしみ)
〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区櫛引町1-422-2
TEL/FAX:048-671-7708 e-mail:yoshimi@dream-hasegawa.com
公式サイト <http://www.dream-hasegawa.com>
ブログ <http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/>
